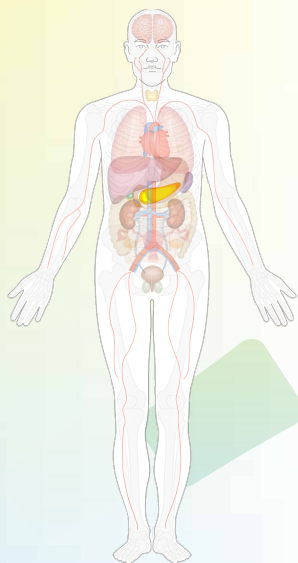


膵疾患



検査項目		目的	膵疾患	
※検査項目をクリックいただくと詳しい情報を閲覧できます。		対象		
	生化学 I 総項目数	主な臨床的意義	10	5
	実施料		109	93
	判断料		144	144
	●合算		253	237
1	γ-GT	胆道閉塞・アルコール肝炎・脂肪肝	●	●
2	AMY	膵臓・唾液腺・腎臓	●	●
3	ALP	胆道・骨	●	
4	AST	肝臓・心臓	●	
5	ALT	肝臓	●	●
6	CK	心筋・骨格筋・甲状腺		
7	LD	心臓・肺・骨格筋・溶血	●	●
8	コリンエステラーゼ	肝硬変・脂肪肝・農薬中毒・麻酔・栄養		
9	総ビリルビン	肝炎・胆道閉塞・溶血	●	
10	直接ビリルビン	肝炎・胆道閉塞	○	
11	クレアチニン	腎臓・筋肉量		
12	尿素窒素	腎臓・組織蛋白異化	●	
13	総蛋白	栄養		
14	アルブミン	栄養・炎症	○	
	A/G 比 (計算項目)	一般状態		
15	尿酸	痛風・腎臓・肥満		
16	ブドウ糖	糖尿病	●	
17	中性脂肪	動脈硬化	●	●
18	総コレステロール	動脈硬化		
19	LDL コレステロール	悪玉コレステロール・動脈硬化		
20	HDL コレステロール	善玉コレステロール・動脈硬化		
21	HbA1c	糖尿病		
22	CRP	炎症	○	○

・ HbA1c は血液形態・機能的検査項目で、実施料は 49 点、判断料は 125 点、CRP は、免疫学的検査で、実施料は 16 点、判断料は 144 点。

* CRP の適応疾患については、診療報酬支払基金の判断に違いがあるので注意が必要

○は、計算項目で保険上算定できない。

○は、10 項目を超えることを容認するなら加える。

◆膵疾患

- ・ 原因としてアルコール多飲、胆石、総胆管結石、腫瘍性病変、高中性脂肪血症などがあり、それに関連した検査項目を選択する。肝逸脱酵素、胆道系酵素、中性脂肪などである。
- ・ 疾患の病態を把握するための検査項目を選択する。AMY (P-AMY) が最たるもので、CRP 以外に炎症マーカーとして白血球数 (好中球数)、プロカルシトニン、さらには病態の予後を占う血小板数、血清カルシウム濃度、腎機能の指標なども必要となる。
- ・ 広範に障害を受けると耐糖能が低下する。